

Title	近現代中華圏の伝統芸能と地域社会：台湾の皮影戯・京劇・説唱を中心に
Sub Title	Traditional performing arts and local community of modern China : shadowplay, Peking opera and crosstalk in Taiwan
Author	氷上, 正(Hikami, Tadashi) 二階堂, 善弘(Nikaidō, Yoshihiro) 平林, 宣和(Hirabayashi, Norikazu) 千田, 大介(Chida, Daisuke) 山下, 一夫(Yamashita, Kazuo) 佐藤, 仁史(Satō, Yoshifumi) 戸部, 健(Tobe, Ken) 石, 光生(Shih, Kuangsheng) 邱, 一峰(Chiu, Yifeng) 鄭, 守治(Zheng, Shouzhi)
Publisher	
Publication year	2019
Jtitle	科学研究費補助金研究成果報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>本研究においては、皮影戯・相声・京劇・宣卷を対象に、台湾および中国本土における伝統芸能について、(1) 伝統芸能とそれを取り巻く地域社会の特質および政治・経済的背景、(2) 地域内の都市と農村、さらに地域間を結ぶ伝統芸能のネットワーク構造、(3) 台湾と中国本土における伝統芸能のあり方、といった点に留意しながら、その現状と形成・変遷について、様々な側面から解明を行った。これによって、様々な学術領域の知見も総合した、新たな中華圏の伝統芸能を立体的に描き出すことができた。</p> <p>In this study, we clarified the present conditions, formations and various changing aspects of traditional performing arts in Taiwan and mainland China, such as piyingxi (Shadow Puppetry), xiangsheng(Stand-up comedy), Jingju(Peking Opera) and Xuanjuan(Precious Scrolls).</p> <p>In particular, we noted the following points : (1) the characteristics of these traditional arts and it's surrounding community, political and economic background; (2) Network structures of these traditional performing arts between urban areas and rural areas in the region or between regions; (3) Different ways of performing arts in Taiwan and mainland China. As a result, we were able to create a three-dimensional depiction of Chinese traditional arts performing arts that also integrated knowledge from various academic fields.</p>
Notes	研究種目：基盤研究 (B) (一般) 研究期間：2015～2018 課題番号：15H03195 研究分野：中国文学
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KAKEN_15H03195seika

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

令和元年6月19日現在

機関番号：32612

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2015～2018

課題番号：15H03195

研究課題名(和文) 近現代中華圏の伝統芸能と地域社会～台湾の皮影戯・京劇・説唱を中心に

研究課題名(英文) Traditional performing arts and local community of modern China: shadowplay, Peking opera and crosstalk in Taiwan

研究代表者

氷上 正 (HIKAMI, Tadashi)

慶應義塾大学・総合政策学部(藤沢)・教授

研究者番号：40228698

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究においては、皮影戯・相声・京劇・宣卷を対象に、台湾および中国本土における伝統芸能について、(1) 伝統芸能とそれを取り巻く地域社会の特質および政治・経済的背景、(2) 地域内の都市と農村、さらに地域間を結ぶ伝統芸能のネットワーク構造、(3) 台湾と中国本土における伝統芸能のあり方、といった点に留意しながら、その現状と形成・変遷について、様々な側面から説明を行った。これによって、様々な学術領域の知見も総合した、新たな中華圏の伝統芸能を立体的に描き出すことができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

学術的意義については、従来の中国伝統芸能研究では文学や演劇学の立場からの美的研究が一般的であったのに対し、本研究では歴史学や宗教学など様々な研究分野の視点・方法を総合することで、地域社会に根ざした伝統芸能の実像の立体的把握を行った点が挙げられる。

また社会的意義として、上記のような特徴によって得られた本研究の知見は、中華圏の伝統文化について一般の人々が理解を深めることのできる視点や材料を獲得しており、それを一般を対象とした講演会の開催や啓蒙書の出版、ネットを通じた情報発信等によって積極的に広める活動を行ったことが挙げられる。

研究成果の概要(英文)：In this study, we clarified the present conditions, formations and various changing aspects of traditional performing arts in Taiwan and mainland China, such as piyingxi (Shadow Puppetry), xiangsheng(Stand-up comedy), Jingju(Peking Opera) and Xuanjuan(Precious Scrolls). In particular, we noted the following points: (1) the characteristics of these traditional arts and its surrounding community, political and economic background; (2) Network structures of these traditional performing arts between urban areas and rural areas in the region or between regions; (3) Different ways of performing arts in Taiwan and mainland China. As a result, we were able to create a three-dimensional depiction of Chinese traditional arts performing arts that also integrated knowledge from various academic fields.

研究分野：中国文学

キーワード：皮影戯 台湾 京劇 相声 中華圏 近代化 宝巻 民間信仰

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

中国の伝統芸能に関する研究は、1980年代以降、我が国において農村祭祀芸能に対する演劇史・文化人類学的調査・研究が進展し、中国本土においても地方芸能の調査・整理が進んだことで、新たな伝統芸能像が描き出されている。一方、中国各地の伝統芸能のあり方が解明されるのに従い、それら個別の事象を相互に結びつけるネットワーク構造を、演劇学・文学史研究のみならず歴史学・宗教学などの方法・知見を総合し、分野横断的に解明する必要性が高まっている。かかる認識に立ち、研究代表者は科研費研究「近現代華北地域における伝統芸能文化の総合的研究」(平成17~19年度、基盤研究(B)、課題番号17320059)・「近現代中国における伝統芸能の変容と地域社会」(平成22~25年度、基盤研究(B)、課題番号22320070)などを通じて、北京・天津・河北・山西・陝西・遼寧・黒竜江などの北方地域、上海・江蘇・浙江・安徽などの江南地域において現地調査を行い、皮影戲・京劇・相声・宝巻などの伝統芸能を研究し、その成果を『近現代中国の芸能と社会 皮影戲・京劇・説唱』(好文出版、2013)・『中国皮影戲調査記録集 皖南・遼西篇』(好文出版、2014)などとして公刊してきた。

一方、研究の蓄積が進むにつれて、従来注力してきた同一地域内の都市・農村を結ぶ伝統芸能のネットワーク構造に留まらず、全国レベルのマクロなネットワーク構造の解明が新たな課題として浮上している。また、中国本土の事例研究からは、中華人民共和国成立後の芸能・文化政策が伝統芸能のあり方に及ぼした影響が予想以上に大きく、また近年の急激な市場経済化による社会構造の変化や無形文化遺産ブームに伴う政策的影響などにより、更なる変容を遂げつつある実態が明らかになった。このため、かかる環境下にある中国本土の伝統芸能への理解を深めるためには、それらを対象とした研究を深化させるばかりでなく、そのあり方を相対化し客観的に論ずるための視座や具体的比較対象を設定することが、喫緊の課題となっている。かかる問題意識から本研究では、台湾の伝統芸能を主たる研究対象として採りあげる。台湾は近現代において中国本土と異なる政治的・経済的環境下にあり、中国本土の断続的文化交流のものと、独自の発展を遂げている。一方、社会主義革命を経ておらず、地域社会に根ざして生きている伝統芸能が多い。そうした台湾独自の要素を考慮した上で中国本土と比較することで、中国における伝統芸能の本質に迫ることが可能となると考える。

2. 研究の目的

本研究では皮影戲・京劇・相声などの伝統芸能を取り上げ、その現状と、清代後期から現在に至るその形成・変遷の過程を解明する。主たる研究対象は台湾の伝統芸能であるが、比較・検討のため中国本土の伝統芸能についても必要に応じて対象に加える。台湾の伝統芸能はいずれも中国本土から伝播したものであるが、現代においては日本・欧米との交流・情報伝達の窓口になるなど、広く中華圏内外を結ぶマクロな伝統芸能のネットワーク構造の中で独自の機能を果たしてきたと思われる。現地調査および文献調査を通じて、その実態の解明を目指す。また、地域に根ざした伝統芸能は、移民などを通じた人口移動などに伴う地域社会の再編過程、および近現代の文化政策などの政治的要因によって規定される側面を持つ。このため、近現代における伝統芸能とそれを取り巻く社会背景について、西洋近代の流入とその影響や日本による植民地支配の影響に留意しつつ調査・考究する。さらに、中国本土では経済発展や無形文化遺産制度に伴って伝統芸能の観光産業化が急速に進展しているが、先行して経済発展を遂げた台湾における状況や政策の影響を調査して中国本土と比較することで、その相違点や相互の影響関係を解明する。最終的には、文学・演劇学・歴史学・宗教学など様々な学術領域の知見を総合し、新たな中国伝統芸能像の立体的な描出を目指す。

3. 研究の方法

本研究では前述の目的を達成するため、以下のように研究を進める。

現地調査によるインタビュー・資料収集と、文献資料調査とを相補的に行う。

研究組織を学術分野班に分け、現地調査の実施責任者としてコーディネーターを置く。

研究集会およびビデオ会議を開催し、研究分担者間の認識・問題意識の共有を図る。

初年度に研究の基礎を確立、第2年度以降それを深化させ、第3年度以降、それまでの成果に基づき地域間の比較研究を進める。

本研究は中国の伝統芸能について分野横断的に調査研究を進める点に特色があるが、研究の効率化をはかるため、各学術分野ごとに班を作り、それぞれに責任者を置く。また現地調査による資料収集も本研究の特色であるが、研究対象が台湾と中国本土に分かれるため、複数の調査団が同時に調査活動を展開する必要がある。このため、現地調査の企画・準備・現地折衝などを担当する現地調査コーディネーターを、調査対象となる各地域について置く。現地調査は、夏および春に1~2週間程度の期間実施する予定であるが、調査に際してはコーディネーターが現地との折衝の責任者となり、予定される調査内容に応じて各学術分野にまたがる調査団を組織する。また、デジタル化担当を置き、資料や成果を共有・公開するため、クラウドコンピューティングに対応したデジタルプラットフォームを整備し、研究の円滑化を図る。台湾での調査実施にあたり、台湾皮影戲に関しては嶺東科技大學視覚傳達設計系の邱一峰助理教授に、日治時期の京劇史に関しては文化大学戲劇系の徐亞湘教授に、また1945年以降の京劇史については台湾大学戲劇系の王安祈教授に、それぞれ協力を依頼する予定である。また皮影戲の現地調査については中央研究院台湾史研究所の李孟勳兼任助理に現地手配・帯同などの協力をお願いす

る。

芸能の調査においては、現地踏査や聞き取りなどで得られた情報を文献資料と照らし合わせて確認・検討する作業が重要になる。このため、現地調査の事前・事後に周到に資料の調査・分析を行わなくてはならない。本研究では、毎年4月および12月に研究集会を開催し、現地調査の準備あるいは調査成果の取りまとめをはかるとともに、随時ビデオ会議を開催し、学術分野および現地調査団の間で情報の共有と認識のすりあわせを行う。現地調査を通じて収集された資料は、速やかにデジタル化して共有する。聞き取りの録音については、現地方言に通じた学生等にテープ起こしを委託する。また重要な文献資料については必要に応じて電子テキスト化し、検索・分析の便をはかる。なお現地調査は伝染病の流行やインフォーマントの体調、さらには国際関係の悪化などによって実施が難しくなることがあり得る。しかし本研究ではフィールドが台湾と中国本土とに分かれるため、ある地域の伝統芸能の調査が困難になったとしても、他地域の伝統芸能調査に重点を移す、文献資料調査の比重を高めるといった調整を行うことで、問題なく研究を遂行することができると思う。

4. 研究成果

本研究では、台湾および中国本土における伝統芸能の現状と形成・変遷について、様々な側面から解明を行った。具体的には以下のような点に纏めることができる。

(1) 台湾の皮影戯について。台湾南部における現地調査や、長野県飯田市における劇団の来日上演の同行調査、中国本土の陸豊皮影戯などの芸能との比較検討を行い、台湾皮影戯の形成過程とその性質について解明を行った。

(2) 台湾の相声について。台北における現地調査や資料の分析によって、中国北方の芸能である相声が、戦後台湾に伝来し、現地化が進行した過程と、台湾における現状について明らかにした。

(3) 中国北方の皮影戯について。ハーバード・イエンチン所蔵皮影戯台本や、オッフェンバッファのドイツ皮革博物館所蔵北京皮影戯影人資料など、従来利用されていなかった資料等も用い、清末における欧米研究者による皮影戯収集・研究の一端を明らかにするとともに、清代における北京・河北地域の皮影戯形成を、戯曲史研究の成果を参照しつつ解明を行った。

(4) 京劇について。梅蘭芳の古装新戯について分析を行い、これが西洋近代のパフォーマンスの影響下に形成された可能性を指摘した。

(5) 宝巻および民間信仰について。江蘇省における宣巻の現地調査や、台湾南部・澎湖島などの寺廟調査を実施し、それぞれ実態の解明を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計22件)

1. 千田大介, 北京皮影戯西唐故事考 「大罵城」と『三皇宝剣』伝奇を軸に, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十七輯, 2019, 91-151
2. 山下一夫, 台湾皮影戯『蘇雲』考, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十七輯, 2019, 38-58
3. 佐藤仁史、陳明華、張笑川, 常熟宣巻調査報告 虞山鎮の一講経先生に即して, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十七輯, 2019, 74-90
4. 戸部健, 1940年代後半から1960年代台湾における総合的社会教育機関の変遷 民衆教育館・流動教育施教団・社会教育館, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十七輯, 2019, 59-73
5. 千田大介, 北京西派皮影戯錫慶班をめぐって 北京・冀中・冀東皮影戯形成史考, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十六輯, 2018, 58-92
6. 山下一夫, 台湾南部における影絵人形劇の上演について 中元節を中心に, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十六輯, 2018, 30-57
7. 二階堂善弘, 東アジアの伽藍神信仰, 関西大学東西学術研究所紀要, 査読有, 第50輯, 2017, 41-50
8. 千田大介, 焦循『劇説』校読記, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十五輯, 2017, 31-54
9. 山下一夫, 清朝宮廷演劇『混元盒』の成立と上演, 藝文研究, 査読無, 第百十二号, 2017, 37-52
10. 山下一夫, 台湾皮影戯『白鷺歌』と明伝奇『鸚鵡記』, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十五輯, 2017, 5-30
11. 佐藤仁史, “迷信”と非遺之間: 關於江南的民間信仰与農村婦女的一些思考, 民俗研究, 査読有, 2018年第1期, 2018, 42-50
12. 佐藤仁史, 從“滿鉄上海事務所”看日本の華中調査, 蘇州科技大学学報(社会科学版), 査読有, 2017年第6期, 2017, 76-86
13. 戸部健, 北米における近代中国関係資料調査報告, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十五輯, 2017, 55-69
14. 二階堂善弘, 温州の廟と祭神について, 関西大学東西学術研究所紀要, 査読有, 第49輯, 2016, 61-72
15. 千田大介, 陸豊皮影戯初探, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十四輯, 2016, 33-60
16. 山下一夫, 台湾の影絵人形劇研究 その現状と課題, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十

四輯, 2016, 5-32

17. 戸部健, 近代中国における「社会教育」普及の意味, 歴史と地理, 査読無, 第 694 号, 2016, 54-57
18. 佐藤仁史, 被切斷的記憶: 從一位「富農」的敘述看近代江南的農村社會, 東吳歷史學報, 査読有, 第 36 期, 2016, 7-37
19. 二階堂善弘, 明代江南における伽藍神, 関西大学東西学術研究所紀要, 査読有, 第 48 輯, 2015, 59-68
20. 二階堂善弘, 東南アジアの玄天上帝廟, 東アジア文化交渉研究(関西大学東アジア文化研究科), 査読無, 第 8 号, 2015, 163-169
21. 佐藤仁史, 近代江南の漁民と信仰 以天主教為中心, 近代中国基督教史研究集刊, 査読無, 10 期, 2015, 107-118
22. 戸部健, YMCA アークイヴズ(ミネソタ大学)所蔵中国 YMCA 関係史料について 天津関係史料を中心に, 史学, 査読無, 第 84 卷第 1-4 号, 2015, 251-264

〔学会発表〕(計 40 件)

1. 佐藤仁史, 清末民国時期的胥吏与鄉村役, 第 1 屆歷史人類学論壇「明清社会研究基本問題」, 2019
2. 二階堂善弘, 関公与足利尊氏 日本最古関公神像伝説, 2018 関公文化国際学術前沿論壇, 2018
3. 二階堂善弘, 東南アジアの福建系寺廟 台湾との違いを中心に, 中国都市芸能研究会 2017 年度冬季大会, 2018
4. 平林宣和, 梅蘭芳古装新戲與與民初上海劇壇 試探民初上海劇壇對於梅蘭芳古装新戲的影響關係, 2018 CHINOPERL CONFERENCE, 2018
5. 千田大介, 北京・冀中皮影戲のレパートリーをめぐって, 中国都市芸能研究会 2018 年度春季大会, 2018
6. 千田大介, 中華圏の影絵人形のデザインと系譜, 台湾ローカル文化と中華文化 映画・影絵人形劇・布袋戲、そして『Thunderbolt Fantasy』, 2018
7. 千田大介, 皮影戲の大西唐皮影戲の大西唐故事をめぐって 「大罵城」・北京皮影戲・台湾皮影戲, 中華圏の影絵人形劇, 2018
8. 千田大介, 論北京、河北皮影戲之演變, 偶戲無國界 台日港偶戲交流座談會, 2018
9. 山下一夫, 現代中国における関公廟の仏教寺院化について, 中国都市芸能研究会 2018 年度春季大会,
10. 山下一夫, 台湾皮影戲《白鶯歌》和弋陽腔, 偶戲無國界 台日港偶戲交流座談會, 2018
11. 山下一夫, 台湾皮影戲「蘇雲」考, 中華圏の影絵人形劇, 2018
12. 山下一夫, 台湾の人形劇 野外上演から『東離劍遊紀』まで, 台湾ローカル文化と中華文化 映画・影絵人形劇・布袋戲、そして『Thunderbolt Fantasy』, 2018
13. 山下一夫, 当代中国関公廟之佛教化, 2018 関公文化国際学術前沿論壇, 2018
14. 山下一夫, 台湾における影絵人形劇の上演と分布, 日仏東洋学会シンポジウム「アジア的芸能の地平へ」, 2018
15. 佐藤仁史, 近代中国の『風俗改良』と地域文化, アジア教育史学会大会シンポジウム「教育から地域をみる」, 2018
16. 佐藤仁史, 香港の民俗文化と無形文化財, 中国都市芸能研究会 2017 年度冬季大会, 2018
17. 戸部健, 日・米との教育交流のあり方から見た天津地域社会のスタンス 清末民初を中心に, アジア教育史学会大会シンポジウム「教育から地域をみる」, 2018
18. 戸部健, 清末天津における YMCA と学校教育との関わり 「日本モデル」から「アメリカ・モデル」への転換の底流, 第 92 回経済史研究会, 2018
19. 氷上正, 台湾相声の歩み, 中国都市芸能研究会 2016 年度冬季大会, 2017
20. 平林宣和, 梅蘭芳古装新戲與文明戲 試探文明戲對於梅蘭芳古装新戲の影響關係, 第四届清末民初新潮演劇国際学術研討会, 2017
21. 平林宣和, 1919 年梅蘭芳訪日之前日人对于京劇的認識與其變遷 - 試探 1917 年梅蘭芳與日本社会的首次邂逅 -, 2017 CHINOPERL CONFERENCE, 2017
22. 平林宣和, 梅蘭芳の古装新戲と電光の世紀 梅蘭芳『天女散花』とロイ・フラワー, 中国都市芸能研究会 2017 年度春季大会, 2017
23. 千田大介, 北京皮影戲の短編台本集をめぐって, 中国都市芸能研究会 2017 年度春季大会, 2017
24. 山下一夫, 台湾南部における影絵人形劇の中元普渡上演, 道教文化研究会例会, 2017
25. 佐藤仁史, 中国社会中的民間信仰: 以宝卷為中心, “中国社会史教材の写法” 学術研討会, 2017
26. 佐藤仁史, 当代中国農村的民俗文化与婦女網絡: 以江南為例, SCIEA 9th Annual Meeting, 2017
27. 佐藤仁史, 清末民国時期的田賦改革与地方自治: 以征税程序為中心, “明清江南社会經濟史的基本問題” 学術研討会, 2017
28. 戸部健, 北米における近代中国関係史料調査報告, 中国都市芸能研究会 2016 年度冬季大

- 会, 2017
29. 平林宣和, 梅蘭芳古装新戲與“電光”的世紀 試探梅蘭芳《天女散花》与洛伊·富勒的“電光舞”之關係, 梅蘭芳精神及傳播國際學術研討會, 2016
 30. 千田大介, 陸豊皮影戲研究の現状と課題, 中国都市芸能研究会 2015 年度冬季大会, 2016
 31. 佐藤仁史, 芸能からみる近現代中国地域社会史 最近の宣卷調査を踏まえて, 中国都市芸能研究会 2016 年度春季大会, 2016
 32. 佐藤仁史, 從民間芸能看江南農村和信仰, AoE Workshop on Local Society and its Religious Institutions, 2016
 33. 佐藤仁史, 從記憶到歷史 以滿洲遣送日人為例, 香港海防博物館週末講座, 2016
 34. 二階堂善弘, 日中寺院における伽藍神の探求, ICIS シンポジウム「文化交渉学のペースクティブ」, 2015
 35. 二階堂善弘, 禹王と中国の水神信仰 (Yuwang and Chinese Water Gods Worship), 東アジア文化交渉学会第七回大会 (SCIEA the 7th Annual Meeting 2015), 2015
 36. 平林宣和, 1919 年梅蘭芳訪日之前日人对京劇的認識與變遷, 第三回清末民初新潮演劇國際シンポジウム, 2015
 37. 山下一夫, 台湾皮影戲研究の現状と課題, 中国都市芸能研究会 2015 年度春季大会, 2015
 38. 佐藤仁史, 從林産看近代錢塘江流域社会: 以建德和桐廬的口述調査為中心, 2015 年中国社会科学論壇: 中国古代社会变化与思想變遷國際學術研討會, 2015
 39. 佐藤仁史, 民国時期日本在上海地区的宗教調査: 以大谷派僧侶藤井草宣為例, 中央研究院台湾史研究所主催“第四届族群、歷史与地域社会研討會”, 2015
 40. 佐藤仁史, 民俗“復興”的時代性: 宣卷与江南農村的民俗生活, “全球史視野下的江南文化与社会變遷”國際學術研討會, 2015

〔図書〕(計 8 件)

1. 石光生、邱一峰、山下一夫、氷上正、戸部健、千田大介、平林宣和、佐藤仁史, 好文出版, 中華圏の伝統芸能と地域社会, 2019, 208
2. 氷上正、山下一夫、千田大介、吉川龍生, 好文出版, 台湾ローカル文化と中華文化, 2018, 110
3. 氷上正、山下一夫、戸部健、千田大介、平林宣和、佐藤仁史、二階堂善弘, 台北: 博揚文化事業有限公司, 地方戲曲和皮影戲 日本學者華人戲曲曲藝論文集, 2018, 282
4. 佐藤仁史、吳滔、張筋瀾、夏一紅, 広州: 広東人民出版社, 垂虹問俗 田野中の近現代江南社会与文化, 2018, 336
5. 中国芸術研究院戲曲研究所(編) 岡崎由美、平林宣和、川浩二(監修・翻訳), 国書刊行会, 中国演劇史図鑑, 2018, 326
6. 佐藤仁史, 北京: 北京師範大学出版社, 近代中国的郷土意識 清末民初江南的地方精英与地域社会, 2017, 432
7. 二階堂善弘(Translated by Jenine Heaton), V&R Unipress and National Taiwan University Press, Asian Folk Religion and Cultural Interaction, 2015, 262
8. 戸部健, 汲古書院, 近代天津の「社会教育」 教育と宣伝のあいだ, 2015, 352

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕

氷上正、二階堂善弘、平林宣和、千田大介、山下一夫、佐藤仁史、戸部健, 「近現代中華圏の伝統芸能と地域社会」2018 年度活動概要, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十七輯, 2019, 163-168

氷上正、千田大介、山下一夫, 「近現代中華圏の伝統芸能と地域社会」2017 年度夏期現地調査の概要, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十六輯, 2018, 93-98

氷上正、佐藤仁史、千田大介、二階堂善弘、山下一夫, 「近現代中華圏の伝統芸能と地域社会」2016 年度現地調査の概要, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十五輯, 2017, 70-76

氷上正、千田大介、山下一夫, 「近現代中華圏の伝統芸能と地域社会」2015 年夏季現地調査の概要, 中国都市芸能研究, 査読無, 第十四輯, 2016, 61-63

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名: 二階堂 善弘

ローマ字氏名: NIKAIDO, Yoshihiro

所属研究機関名: 関西大学

部局名：文学部

職名：教授

研究者番号（8桁）：70292258

研究分担者氏名：平林 宣和

ローマ字氏名：HIRABAYASHI, Norikazu

所属研究機関名：早稲田大学

部局名：政治経済学術院

職名：教授

研究者番号（8桁）：40271358

研究分担者氏名：千田 大介

ローマ字氏名：CHIDA, Daisuke

所属研究機関名：慶應義塾大学

部局名：経済学部

職名：教授

研究者番号（8桁）：70298107

研究分担者氏名：山下 一夫

ローマ字氏名：YAMASHITA, Kazuo

所属研究機関名：慶應義塾大学

部局名：理工学部

職名：准教授

研究者番号（8桁）：20383383

研究分担者氏名：佐藤 仁史

ローマ字氏名：SATO, Yoshifumi

所属研究機関名：一橋大学

部局名：社会（科）学研究科

職名：教授

研究者番号（8桁）：60335156

研究分担者氏名：戸部 健

ローマ字氏名：TOBE, Ken

所属研究機関名：静岡大学

部局名：人文社会科学部

職名：教授

研究者番号（8桁）：20515407

(2)研究協力者

研究協力者氏名：石 光生

ローマ字氏名：SHIH, Kuangsheng

研究協力者氏名：邱 一峰

ローマ字氏名：CHIU, Yifeng

研究協力者氏名：鄭 守治

ローマ字氏名：ZHENG, Shouzhi